

『こどもほん ～KID'S BOOK LIST～』 掲載絵本リスト

1	あやちゃんのうまれたひ	浜田 桂子 さく・え	福音館書店	あやちゃんはもうすぐ6さいの誕生日をむかえます。あやちゃんが生まれてくるのを家族みんなが待ち望んでいたことを、お母さんが愛情たっぷりに話してくれます。
2	いき	中川 ひろたか 作 北村 裕花 絵	アリス館	さむいふゆのひ、ぼくのはいた息が白くみえる。ふたん何気なくしている呼吸は、動物も魚や植物もしている。呼吸をとおして動物や自然を大切にすることを育む絵本です。
3	いしゃがよい	さくら せかい さく	福音館書店	山でパンダの子を見つけたエンさんは、ファンファンと名付け一緒に暮らし始めます。体の弱いファンファンを自転車にのせて医者がよい。一人と一匹の温かい交流がテンポのよい文章で書かれています。
4	おいしいのぼうけん	古田 足日 作 田畑 精一 作	童心社	さくらほいくえんには、こわいものが二つあります。ひとつはおいしいで、もうひとつはねずみばあさんです。そのおいしいに入れられた、さととあきら。くらやみからねずみばあさんがあらわれて…。二人たすけあえば、ねずみばあさんなんてこわくない！
5	おすわりくまちゃん	シャーリー・パレントー ぶ ん デイヴィッド・ウォーカー え 福本 友美子 やく	岩崎書店	4つのいすに1頭ずつ小さなくまちゃんが座りました。でも、あとから来たくまちゃんがいすがありません。やさしい色とイラストで、ゆずりあうことの大切さを教えてくれる絵本です。他のシリーズもおすすめです。
6	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック さく じんぐう てるお やく	富山房	いたずらしておおあばれるマックスは、お母さんにしかられて夕ごはん抜きで寝室にほうりこまれました。すると、寝室に木が生えてきて、マックスは不思議な世界へ旅立ちます。
7	かいちゅうでんとう	みやこし あきこ さく	福音館書店	まっくらなおへやのなかで、スイッチ カチ。懐中電灯をもって夜中の探検がはじまります。懐中電灯が灯すひかりをもとに、ひかりとかけのふしぎを楽しく知ることができます。
8	ぐりとぐら	中川 李枝子 さく 大村 百合子 え	福音館書店	おりょうりと食べるのが大好きなぐりとぐら。森で大きな卵を見つけました。運ぶのが大変だったので、そこで大きなカステラ作りがはじまります。「ぐりとぐら」シリーズはこの本からはじまりました。
9	グリム童話 ねむりひめ	フェリクス・ホフマン え せた ていじ やく	福音館書店	むかし、ある国に生まれた美しいお姫様。一人だけ宴会に招かれなかったうらないおんなによって呪いをかけられてしまいます。呪いを恐れた王さまはお姫様をお城にとじこめてしまいますが…。グリム童話を名作絵本でどうぞ。
10	くれよんのくろくん	なかや みわ さく・え	童心社	ある日、箱から飛びだしたクレヨンたちは、真っ白な画用紙に蝶や花の絵を描いて遊んでいました。でも、くろくんだけは仲間に入れてもらえません。そこへシャープペンのお兄さんがきて、くろくんにいいことを教えます。

11	けっこんしき	鈴木 のりたけ 作	ブロンズ新社	今日のはめでたい結婚式。ページを開いておでこに本を当ててみると、花嫁さんに変身。ページをめくるときにいろいろな人が登場するので、親子で楽しめる絵本です。
12	こすずめのぼうけん	ルース・エインズワース 作 石井 桃子 訳 堀内 誠一 画	福音館書店	飛び方の練習をしていて、疲れてきたこすずめ。けれど「ちゅん、ちゅん、ちゅん」としか言えないので、なかなか休ませてもらえません。同じ鳴き声を探して、あちこち飛びまわり…。
13	こんとあき	林 明子 さく	福音館書店	あきは、生まれた時からいっしょのぬいぐるみのこんと、遠くのおばあちゃんちまで旅をします。はらはらドキドキしながらもあきとこんのきずなに心温まる一冊です。
14	したきりすずめ	石井 桃子 再話 赤羽 末吉 画	福音館書店	ばあさの作ったのりを食べてしまったすずめは、怒ったばあさに舌を切られてしまいました。山へ飛んでいったすずめに、じいさは謝ろうと山へすずめを探しに行くことに…。有名な日本昔話を情感豊かな言葉で表現した絵本です。
15	11ぴきのねこ ふくろのなか	馬場 のぼる 著	こぐま社	11ぴきのねこたちが元気に遠足にでかけると、行く先々に注意書きの立て札が立っています。それを無視して楽しそうなねこたちですが、とうとう怪物ウヒアハに捕まってしまいます。困ったねこたちは…。
16	14ひきのひっこし	いわむら かずお さく	童心社	ねずみの家族が新しい家を探し、旅をして、ようやく見つけた木の根っこで家族みんな協力してお家づくり。個性豊かなねずみ一家と、細かく丁寧に描かれた自然にねずみ一家の一員になれたような気持ちで読めます。
17	すてきな三にんぐみ	トミー=アンゲラー さく いまえ よしとも やく	偕成社	黒いぼうしに黒マントの三人のどろぼうたち。いつものようにばしゃをおどろかせて宝ものをうばおうとしましたが…。ほうせきより、きんかより、ステキな宝ものをみつけた三にんぐみの絵本です。
18	だいこんどのむかし	渡辺 節子 ぶん 二俣 英五郎 え	ほるぷ出版	村に生えた一本の大きなだいこん。村人が抜こうとしても抜けず、「おろし」という言葉を聞いたとたん、だいこんがめくめくめくと泣き始めた。だいこんは抜かれずに村に生え、村を守りますが…。
19	だじゃれすいぞくかん	中川 ひろたか 文 高畠 純 絵	絵本館	「もういいかい」「マダイだよ」。最初から最後までぜんぶ水族館にいる生き物のだじゃれ。声に出して読んでみて、お魚の名前も覚えちゃおう。水族館に行ってお魚を見つけたらつい笑っちゃうかも。
20	たまごにいちやん	あきやま ただし 作・絵	鈴木出版	いつでもお母さんにあたためてもらえるから、ずっとたまごのままでもいいたまごにいちやん。でも、ついにその日はやってきます。お子様の成長と照らし合わせながらあたたかい気持ちになれる絵本です。

21	だるまちゃんくてんぐちゃん	加古 里子 さく・え	福音館書店	「だるまちゃん」シリーズの1冊。てんぐちゃんのもっているものがほしくなり、家でいろいろみつけて、すっかりてんぐちゃんのようになっただるまちゃん。長いはなにスズメがとまって…。
22	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ え うちだ りさこ やく	福音館書店	おじいさんがもりでおとしたてぶくろ。ねずみがやってきて、てぶくろの中にすむことに。すると、かえるやうさぎたちも次々やってきては、てぶくろの中へ。もうてぶくろは、はちきれんばかりになり…。
23	ともだちや	内田 麟太郎 作 降矢 なな 絵	偕成社	「ともだちや」を商売にするちゃっかりもののキツネは、実はさびしがり屋。商売のつもりがオオカミと遊ぶうちに本物の友情が芽生えて、驚きつつもうれしいまさかの展開に！
24	とら猫とおしょうさん	おざわ としお 再話 かないだ えつこ 絵	くもん出版	びんぼう寺のおしょうさんの飼っている猫が、夜中におしょうさんの衣を着て外にでかけていきます。おしょうさんがあとを追うと…。ひたちなか市に伝わる「華蔵院(けぞういん)の猫」に似ている昔話です。
25	どろんこハリー	ジーン・ジオン ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム え わたなべ しげお やく	福音館書店	ハリーはおふろがだいきらい。あるひ、まちななかをあちこちかけまわり、いっぱいあそんできたけれど、どろんこまみれになってしまい…。
26	ねえ、どれが いい？	ジョン・バーニンガム さく まつかわ まゆみ やく	評論社	「どれがいい？」と問われても、現実なら「どれもいやだ」と答えたくりますが、本の中なら楽しめる場面がいっぱい。こどものことばや経験がふえていくにつれて反応もさまざまです。
27	ねえだっこして	竹下 文子 文 田中 清代 絵	金の星社	お母さんのおひざの上は、わたしの大好きな場所。でも、このごろはずっと赤ちゃんがいてちょっとつまらない。ねこの視点で描かれる、母と子とねこの、ちょっと切なくてあたたかなふれあいのお話です。
28	はじめてのおつかい	筒井 頼子 さく 林 明子 え	福音館書店	みいちゃんがママに頼まれて牛乳を買いに一人でおつかいに行きます。子どもの視点から描かれた日常はちょっとぴりどきどき。細かく描かれた背景にも物語がかくれていますので、じっくり楽しんで読めます。
29	パパのしごとはわるものです	板橋 雅弘 作 吉田 尚令 絵	岩崎書店	こっそりパパの仕事場についていったぼく。パパのおしごとはプロレスのわるものだった。みんなパパがやつつけられてよろこんでいるけど、それはぼくのパパなんだ。父と子の絆を描いた絵本。
30	ふしぎなカサやさん	みやにしたつや 作・絵	金の星社	ふしぎなカサやさんは、空からふしぎなものをたくさん降らすカサを売っています。ブタくんがカサを開いてみると、おすしがたくさん降ってきました。そこへはらぺこオオカミがやってきて…。こんなカサがほしくなる楽しいお話です。
31	ふりかけヘリコプター	石崎なおこ 作・絵	教育画劇	「ふりかけヘリコプター、しゅっぱつ！」初めは、白いご飯に卵のふりかけをパラパラパー！次は、アイスクリームにチョコレートスプレーをパラパラパー！さらには時間と空間も飛び越えて…いったいどこまで？

32	ぼくのふとん	鈴木 のりたけ 作・絵	PHP研究所	おもしろいふとんで寝てみたいと思いませんか？ちゅうづりふとんなど楽しいふとんがたくさん出てきます。そんなふとんの中身が誰かにとられてべしやんに！犯人は誰？
33	みずとはなんじゃ？	かこ さとし 作 鈴木 まもる 絵	小峰書店	顔を洗う水。飲んだりする水。お花にあげる水。生活に欠かせない水の性質をやさしく描いた科学絵本。自然を大切に思う気持ちや、科学に対する興味を持つきっかけとなるような絵本です。
34	もうぬげない	ヨシタケ シンスケ 作	ブロンズ新社	男の子が服がぬげなくなって奮闘するという日常であるあるをおもしろく描いた作品。うまいかずにいろんな想像をふくらませる過程が、なんともかわいらしく笑えます。
35	ももたろう	いもと ようこ 文・絵	金の星社	むかしむかし おばあさんが川で洗たくをしていると、大きな桃がどんぶらこどんぶらこ、と流れてきました。桃を割ってみると、中から元気な男の子が…。いつまでも語り継いでいきたい作品です。
36	もりのえほん	安野 光雅 絵	福音館書店	森の絵をじっくり見て下さい。葉っぱのなか、枝のなか、動物たちがたくさん隠れています。絵本を逆さにしたり、横にしたりと、いろいろな角度から動物たちを見つけてください。
37	もりのなか	マリー・ホール・エッツ ぶ ん・え まさき るりこ やく	福音館書店	ぼくは、かみのぼうしをかぶり、らっぱをもってもりへ出かけました。男の子はもりのなかで、動物たちに出会います。小さな男の子の冒険のおはなし。男の子をむかえにきたのはだれかな？
38	よもぎだんご	さとう わきこ さく	福音館書店	春の野原でもぎをつんで、においがおいしい、いろもおいしい、おいしさ100%のよもぎだんご。さあ、ばばあちゃんとつろう！身の周りの自然を五感で楽しんでください。
39	よるくま	酒井 駒子 作・絵	偕成社	ぼくがねむれない夜に出会った「よるくま」。お母さんを探しているんだって。ぼくはいつしよによるくまのお母さんを探しに行っただ。子どもが語る、ちょっと不思議な冒険のお話。